

ガーナ共和国感染症基礎調査 報告書

昭和63年2月

国際協力事業団



アイアール
フィルム作成

JICA LIBRARY



1067468L7J

1.8056

序 文

国際協力事業団は、開発途上国の保健医療分野において感染症の対策が重要課題であることに鑑み、昭和62年度においてガーナ共和国における感染症基礎調査を実施することとした。

このために、日本国際医療団の専門員曾田研二氏を団長とする5名からなる調査団を昭和62年8月15日から9月12日までの29日間ガーナ共和国へ派遣した。

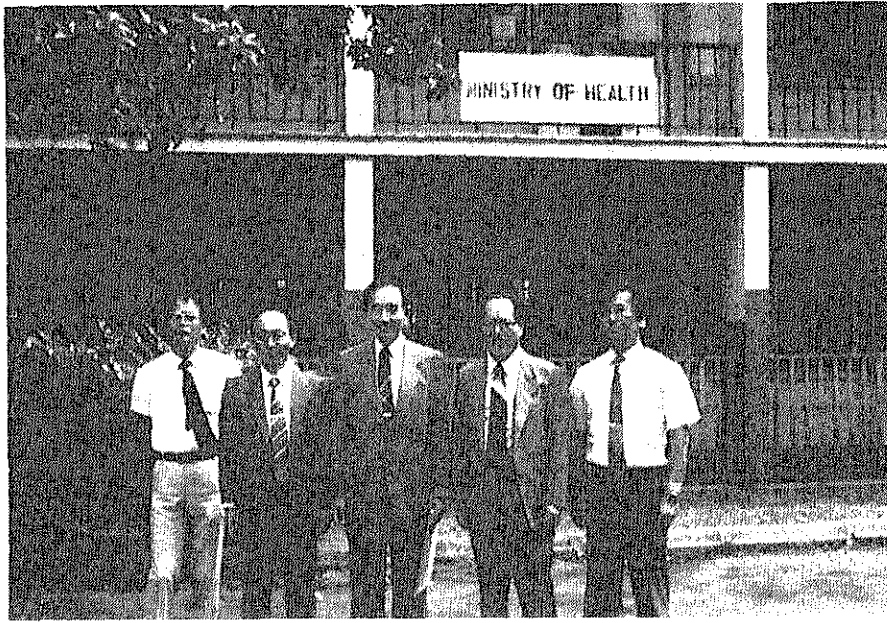
調査団は、ガーナ共和国政府関係者と意見を交換し、アクラ、その他の地域で野外調査を実施した。

本調査団は、現地調査で得られた資料を解析・検討し、ここに報告書を完成する運びとなった。本報告書が今後ガーナ共和国に対する保健医療協力の推進と同国における優良プロジェクトの発掘のための一助になれば幸いである。

最後に、今回の基礎調査の実施にあたり多大な協力を頂いたガーナ共和国政府、日本大使館をはじめ国内関係機関各位に対し、深甚なる謝意を表する次第である。

昭和63年2月

国際協力事業団
理事 末永昌介



調査団メンバー（木村，曾田，神中，伊藤，宗川，左から）



保健大臣表敬



保健次官表敬



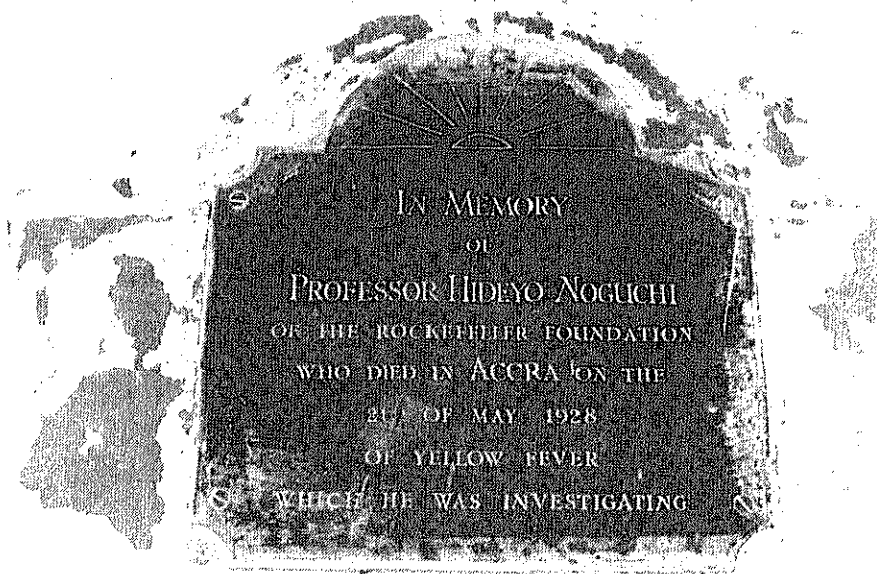
Epidemiology Division にて



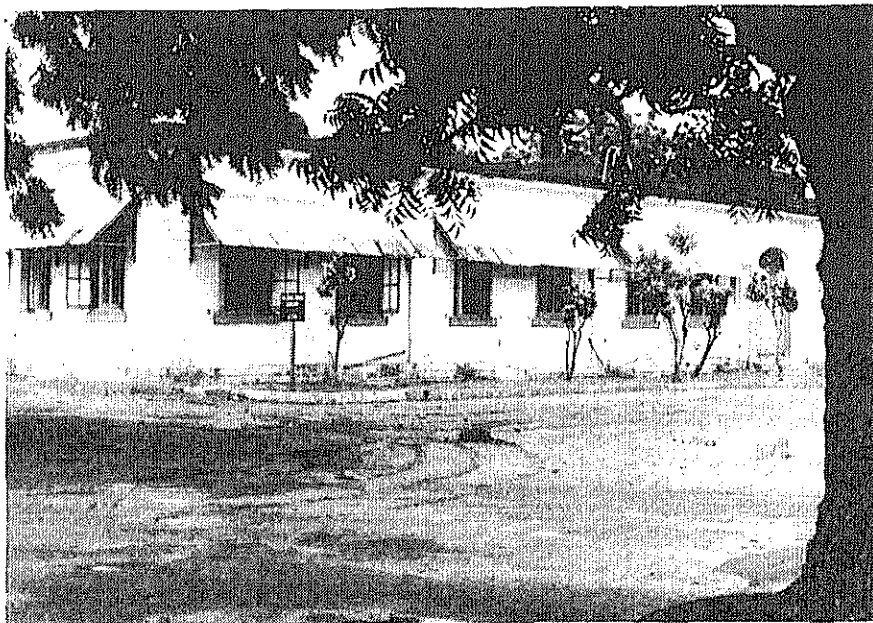
野口博士記念実験室にて



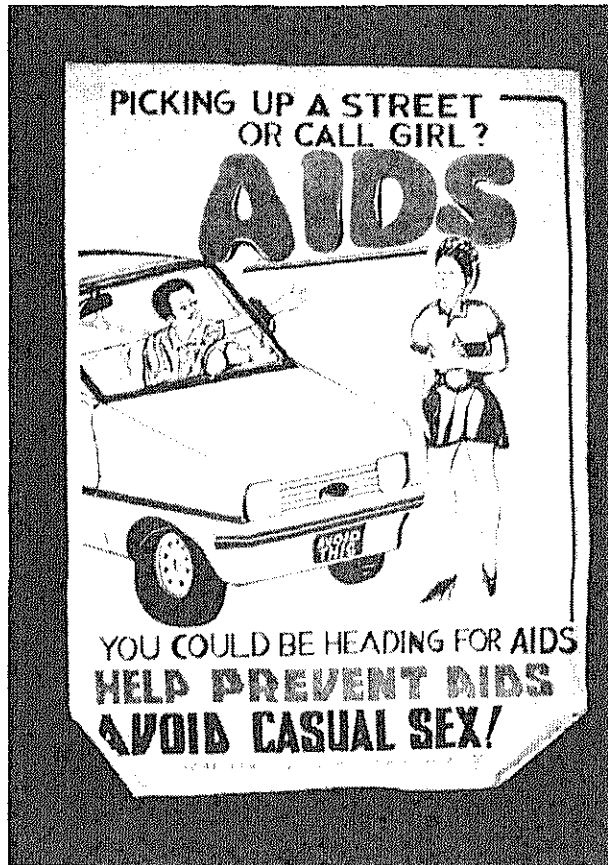
野口博士記念像



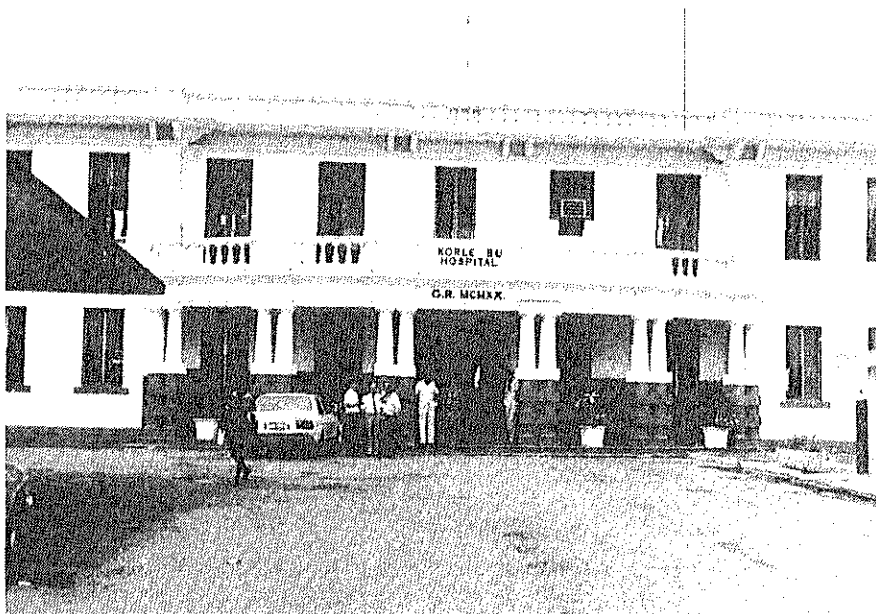
野口博士記念の銘板



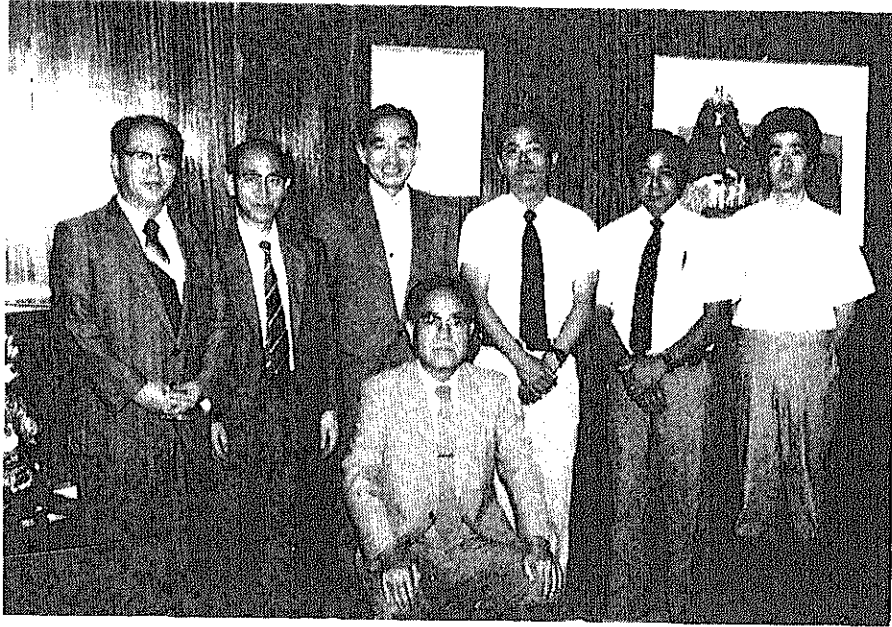
野口博士の実験室



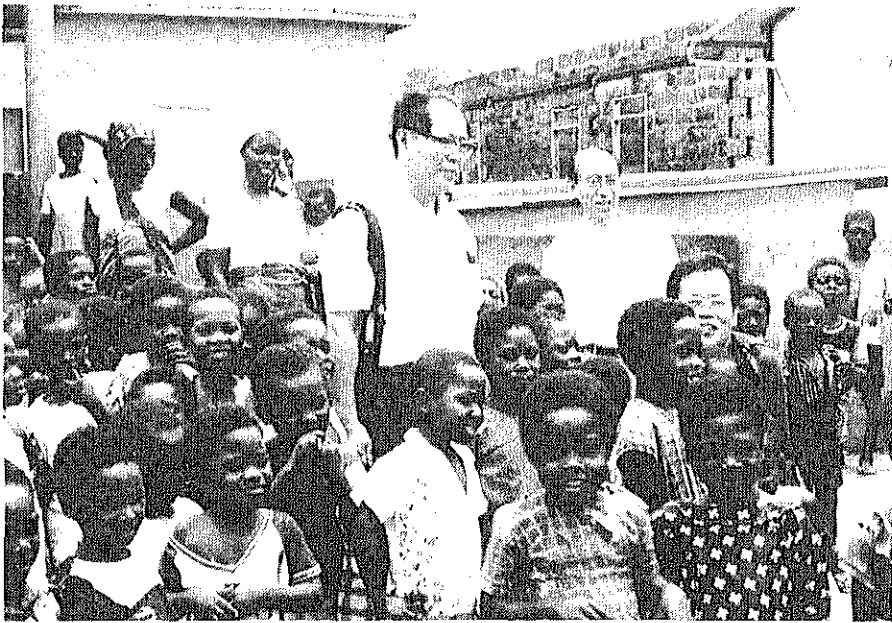
AIDSキャンペーンポスター



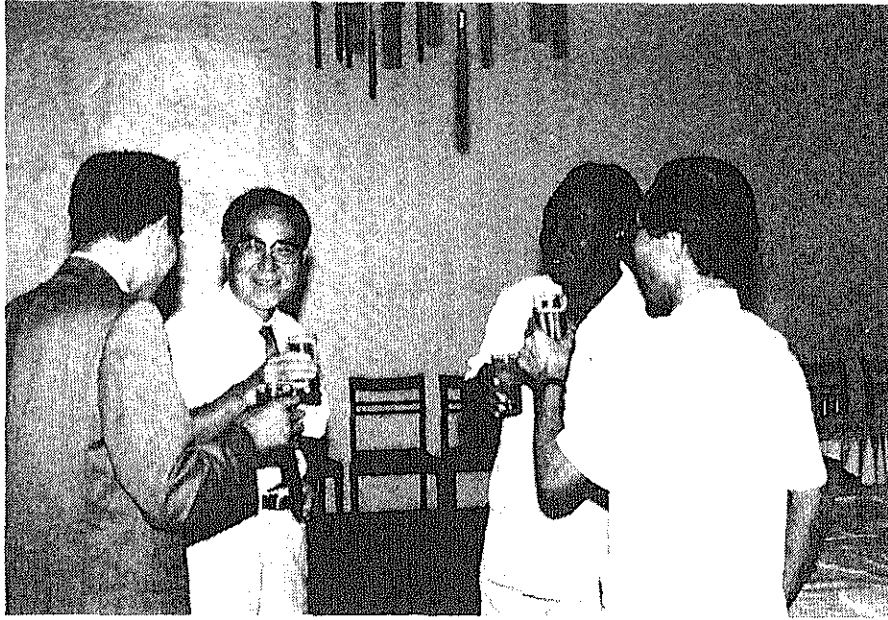
Korle-Bu Hospital 正面玄関



日本大使館にて



Fetteh 村にて



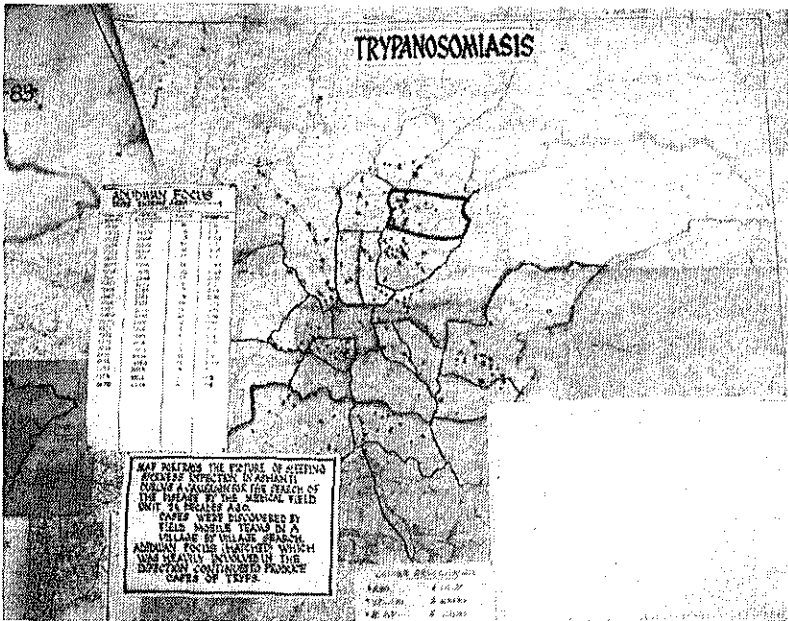
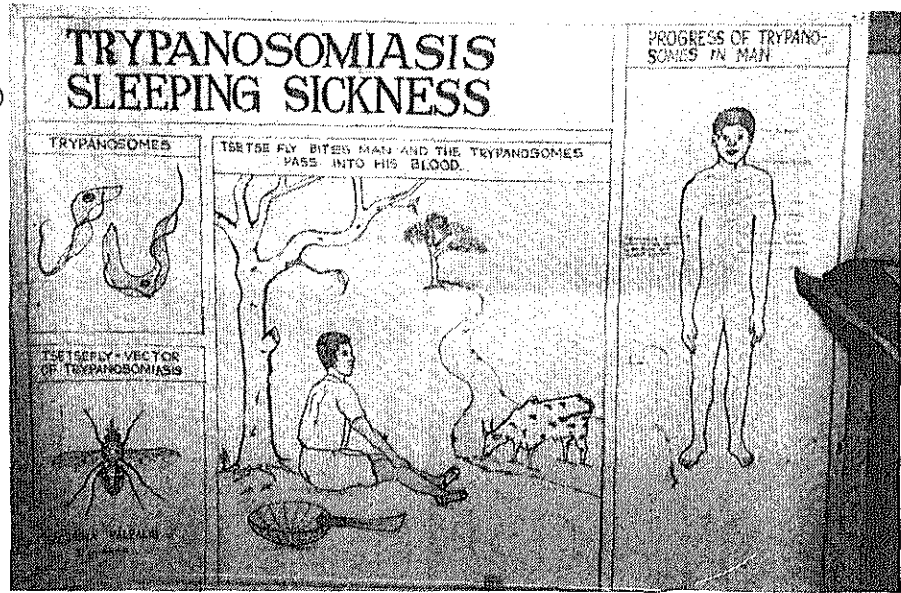
保健大臣，有地大使と



ポスター（下痢）KUMASI市

ポスター(トリパノソーマ症)

KUMASI市



地図(トリパノソーマ症) KUMASI市

MCH Centre, KUMASI市

